

第14回江北町における義務教育のあり方検討会

日 時:令和5年7月31日(月)15時00分～

場 所:江北町公民館講座室

1 開 会

2 あいさつ(教育長)

3 協 議

・教育的内容の打ち出しについて

4 閉 会

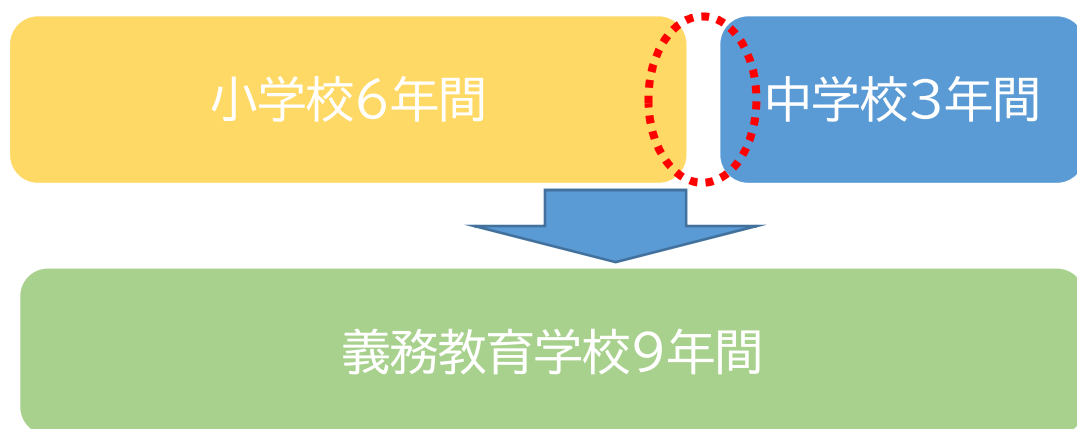
義務教育学校導入に向けて

～小中学校をつなげる、子どもたちをつなげる、
夢につなげる教育を目指します～

義務教育制度は明治から始まり、様々な変遷を経て昭和22年に小学校6年間、中学校3年間の義務教育制度になりました。

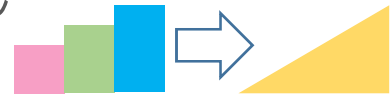
平成28年に新たな学校の種類として「義務教育学校」が規定され、義務教育学校では小学校と中学校の間仕切りをなくし、小学校6年間、中学校3年間という枠にとらわれず、義務教育学校9年間の中で柔軟性のある教育を目指します。

■ 義務教育学校化して、つなげる教育を目指します



● 小学校と中学校の間仕切りをなくし

階段型からスロープ型の教育へ



小学校から中学校への進学に伴う子どもたちの環境の変化（階段）がなくなることによって、中一ギャップと呼ばれる不安や戸惑いをなくすことができ、学童期から青年期までの切れ目ないかわりがます。

▶ 例えば…

- 中学から始まる教科担任制を小学部高学年から実施し慣らし期間を設ける
- 中学部の先生と日ごろから接するため不安や戸惑いも緩和される
- 中学部へ進級した後も小学部の先生とのつながりが持てる
- 特別支援に対する従来の小学校や中学校の区切りで途切れないサポート
- それぞれ思春期などを迎えるタイミングが違うため、一人ひとりの歩みに合わせたサポート体制をとることができる

● 9年間でたくさんの友だちと会える

9年間学校生活を送る中で、同級生だけでなく上級生や下級生もあわせて多くの友だちと出会うことができます。上級生への憧れや下級生への思いやりが生まれ、学校全体に兄弟姉妹のような縦の交流や子どもたちのつながりなどの社会性が育まれます。

▶ 例えば…

- 1年と9年、2年と8年など異学年で給食を一緒に食べる
- 委員会活動、遠足などを縦割りで実施する
- 小学部高学年から早期に部活動へ参加できる

● 夢につなげる“自分学”

※”自分学”とは自分のことについて深く考える学びです

自分自身でも気が付いていない“やりたいこと・やってみたいこと”を、対話の中で引き出し、自身の中で繰り返し心を見つめる時間を設定します。

▶ 例えば…

- 一人ひとりの夢について対話形式で話す機会を設定し、心を整理する時間を設け、夢（目標）を設定し、夢（目標）に向けた道筋を考えるきっかけを与え、夢（目標）に即した体験活動を提案できる